

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和4年度)

政策	7 防災減災・交通基盤			
目指す姿	1 強靱な県土の実現と防災力の強化			
施策の方向性	⑥ 地域における防災活動の促進			
事業名	消防団加入促進モデル事業	事業年度	R5 R7	年度～ 年度
部局名	総務部	課室名	総合防災課	
チーム名	消防保安チーム			

1 事業実施の背景及び目的

消防団員は、近年の激甚化や広域化している災害に対応するための要員であるが、減少を続けている。この事態を打開するために消防団のイメージアップから団員の増加につなげるべく市町村を支援し、消防団を中核とした地域防災力の強化を目指す。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	消防団加入促進モデル事業	①市町村が実施する消防団活動体験イベント等への支援 ②若手・女性消防団員によるワークショップ及び今後の消防団のあり方、役割を考えるシンポジウムの開催	3,062		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	3,062	0	0
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			3,062	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	市町村消防団員数(人)【業績指標】									
指標式	市町村消防団員数									
出典	総合防災課調べ									
把握時期	当該年度6月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								14,828	14,561	14,328
実績b		16,900	16,653	16,275	15,894	15,473	15,131			
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)